Detect

zcrNMS

ネットワーク・インフラ監視

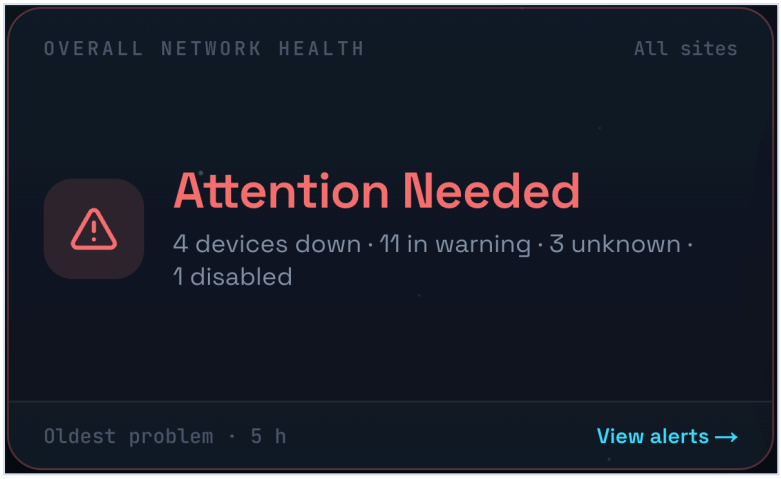
zcrNMSは、デバイス、サーバー、アプリケーションの可用性、性能、容量、サービス健全性を監視するネットワーク・インフラ監視プラットフォームです。

対象	ネットワーク運用チーム・インフラチーム・ITサービス管理・マネージドサービス事業者・企業IT部門
運用上の課題	小さな問題が停止へ発展する前に、ネットワーク、サーバー、アプリケーション、サービスの健全性をチームで共有できる視点が必要です。
監視対象	スイッチとルーター・ファイアウォール・サーバーと仮想マシン・クラウドサービス・データベース・アプリケーションとAPI
導入形態	クラウド監視（SaaS）または顧客インフラ上の仮想アプライアンスから、ソリューション設計時に選択します。zcrNMS向けのハードウェアアプライアンスは現時点で公開していません。

主な機能

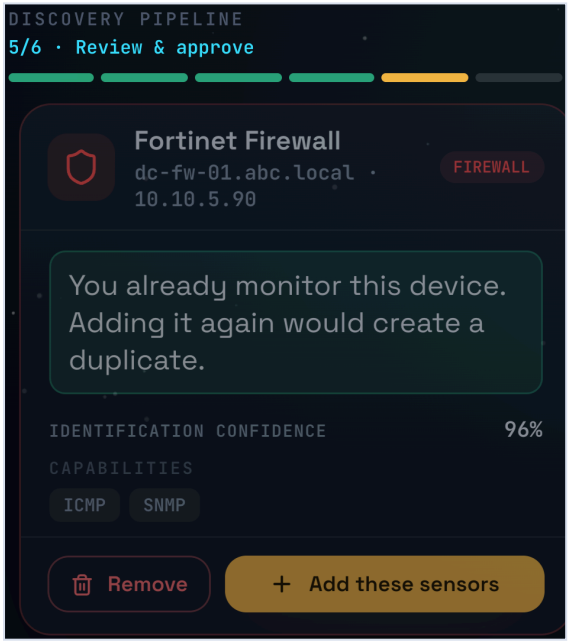
- ネットワーク、サーバー、アプリケーション、サービスの監視
- 自動検出とトポロジーを考慮した表示
- SNMP、エージェント、API、カスタムメトリクスの収集
- しきい値、異常、依存関係を考慮したアラート
- ダッシュボード、レポート、容量傾向、SLA表示
- チケット、チャット、運用ワークフローとの連携

状態の意味と背景を合わせて読む



Overall Network Health全体にAttention Needed、View alerts、down／warning／unknown／disabled状態を表示しています。例示データであり、容量や可用性の保証ではありません。 運用概要では可用性、未解決アラート、プローブの監視範囲も確認できます。この切り出しは状態ウィジェットを選んでいます。 デモを開く（ログインが必要） ↗

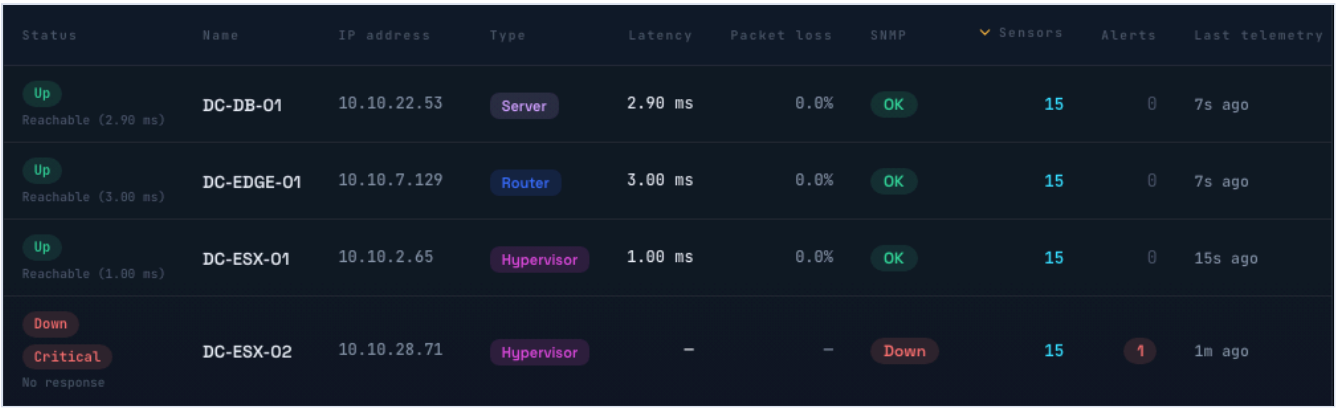
監視に追加する前に検出結果を確認する



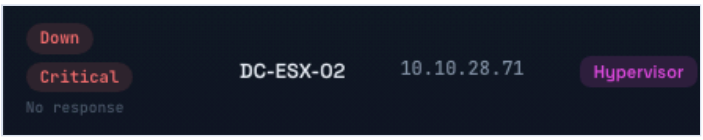
検出判断パネル全体に、既に監視中で再追加は重複になるという警告があります。表示工程はReview & approveであり、新規登録完了を示しません。 デモを開く（ログインが必要） ↗

> 説明用のデモデータです。顧客実績、処理容量、性能の証拠ではありません。元の英語UIを保持しています。

一覧の証拠とアラート遷移を区別する



Devices一覧の全見出しと4行には、状態、名前、アドレス、種類、遅延、損失率、SNMP、センサー、アラート、最終受信が表示されています。アラートから機器へのドリルダウンを示す静止画ではありません。 元の画面を開く ↗



同じ4行目の拡大：Down、Critical、DC-ESX-02、No response。次の調査を決める前に行の状態を確認します。 元の画面を開く ↗

zcrNMSの仕組み

監視シグナルを運用アクションへ

zcrNMSは、機器検出、メトリクス、トポロジー、アラート、ダッシュボード、レポートをインフラチーム向けの一つの運用画面にまとめます。

インフラ監視で得られる効果

- **早期検知** — 可用性や性能の低下を、事業影響が発生する前に把握します。
- **迅速な切り分け** — アラートを機器、依存関係、トポロジー、サービス情報と結び付けます。
- **確かな容量計画** — 傾向データから増強時期を判断し、リソース枯渇を防ぎます。
- **明確なレポート** — サービス健全性とSLAの実績をIT部門と関係者で共有できます。

> 説明用のデモデータです。顧客実績、処理容量、性能の証拠ではありません。元の英語UIを保持しています。

zcrNMS よくある質問

zcrNMSは何を監視しますか？

ネットワーク機器、サーバー、仮想インフラ、アプリケーション、API、サービス健全性を監視するために設計されています。

zcrNMSはどのような位置付けですか？

ZabbixやPRTGのような可視性と、ZCRの運用ワークフローを必要とするチーム向けのインフラ監視プラットフォームです。

導入・運用と商用範囲

クラウド監視	ホステッド監視とマネージドコレクターですばやく開始します。
仮想アプライアンス	監視基盤を組織内のプライベートインフラで運用します。
全プランに含まれる機能	分散コレクター、RBAC、レポート、連携機能は、すべてのセンサープランに含まれます。
ライセンス	監視対象センサー数に基づく年間契約です。公開プランは zcr.ai/ja/pricing/#zcrnms に掲載しています。範囲、保持期間、導入形態、サポートはチャネルパートナーの見積もりで確定します。 センサー1つは監視項目1つです（例：機器1台へのping、1つのインターフェースの帯域幅、サーバー1台のCPU）。一般的な機器1台で複数のセンサーを使用します。

説明責任を支える運用監視

zcrNMSは、可用性の監視、アラート履歴、レポート、担当管理を通じて、追跡可能な運用証跡を作成できるよう支援します。

サポート：一次サポートはチャネルパートナーが提供し、zcrはパートナーに製品サポートを提供します。

承認済みパートナーと評価する

監視項目、機器／インターフェース数、拠点／コレクター配置、保持要件、連携先を用意してください。パートナーが年間センサープラン、導入形態、支援範囲を確認します。通常1台で複数のセンサーを使います。

承認済みパートナーが提案範囲、見積もり、契約、導入を担当します。

パートナーに相談 ↗　現行プラン ↗　製品資料 ↗